

富山循環型女性研究者育成システム

2007 年女性教員比率
16%

Challenge
continue
change

2017 年女性教員比率
目指せ 20% !

富山の象徴であるチューリップの花とその後ろにそびえ立つ立山連峰を、女性らしい柔らかいイメージで表現しています。

SMART :
Support Model for the Advancement of Female Researchers in Toyama

富山大学男女共同参画推進室

富山大学男女共同参画推進室

タスクチームによる9つのプロジェクト

アラカルト支援

男女共同参画宣言文

女性研究者裾野拡大

人材バンク

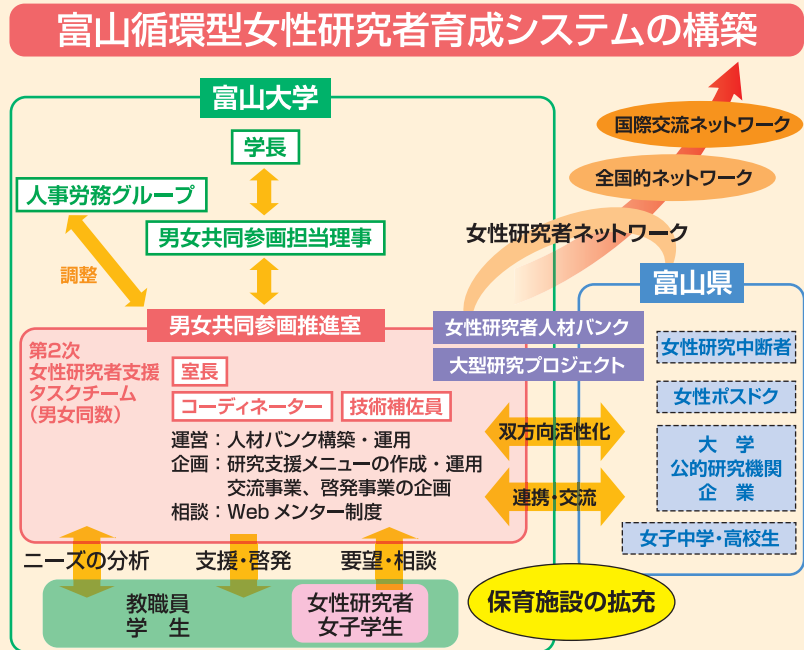
啓発ポスター・リーフレット

啓発事業

病児保育

学内研究者の意識調査

Webメンター



SMART
University of Toyama

平成20年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業

振興調整費

富山循環型女性研究者育成システムの構築

Collaborative Program for the Recruitment and Development of Female Researchers in Toyama

富山大学長
西頭 徳三

学長メッセージ

わが国では平成11年の『男女共同参画社会基本法』制定以来、全国各地で様々な取り組みが行われています。富山大学でも平成20年度に、『富山循環型女性研究者育成システムの構築』プロジェクトが、文部科学省により採択され、全学的に講演や意識調査など啓発活動を展開しています。

ところが私はこの活動に直接関わりながら、ある種のもどかしさを感じてきました。その典型的な一調査結果(平成21年3月)をあげると、「女性研究者が女性ゆえの負担を抱えていると感じたか」という男性教員への質問に対して、半数近い42%が「感じたことがない」と回答しているからです。つまり、このような現状認識に対しては、もっと幅の広く、基本的な啓発活動が必要だと思っています。

そのひとつの方法として、まず女性が直面している現状と今後の役割を明確にして、広く一般の人々が共通認識をもつ必要があります。現にあるグローバルな実態調査(津坂美樹氏による)では、働く女性の最大のニーズは、「時間がなく、忙しすぎる」ことから「強いストレスを感じて」いるため、「これらを解消する点」にあると指摘しています。確かに私たちの社会は、職場で男性と同等に働き、家庭では家事、育児、介護に忙殺されている女性に十分に配慮したものでしょうか。日常的な社会システムは女性のニーズに添えているかどうか。これらの問題を認識しなければなりません。

現在、世界で働く女性は10億人であり、世界消費の64%は女性によると推計されています。女性のストレスを取り除くため、社会全体を柔軟なシステムに転換すれば、さらなる経済発展が可能になると考えられます。

富山大学は、女性研究者の教育・研究環境の整備改善と並行して、自らの活動を通じて女性を社会の一員として明確に位置づけ、真の女性のニーズに応え得る地域社会の再構築に努めます。そのためには女性の生活を断片的にではなく、「全体として捉える視点」が不可欠と考えています。

富山大学男女共同参画宣言

「人権の世紀」といわれる21世紀において、男女共同参画を推進することは、より公正で活力のある社会を実現するための最重要課題です。

富山大学はこれまで、地域に根ざした総合大学として発展してきました。今後も、富山大学が更なる発展を持続させるには、地域はもとより、国際社会に開かれた大学として、本学の構成員一人ひとりが男女を問わず、先端的・独創的研究を促進するとともに、社会に貢献する有為な人材を育成する責務を果たしていくことが重要です。

そのためには、従来の制度や慣行を見直し、学生や教職員が性別にかわりなく、互いの人権を尊重しつつ能力を十分に発揮できる教育・研究・職場環境を作り出すこと、また、仕事と家庭生活とを調和させるための支援や、男女が共同して大学の運営にあたる体制づくりを行うことが不可欠です。

富山大学は、女性就業率の高い富山県の特性を十分に生かして県内の前駆となり、男女共同参画の安定的システムの構築に向け、次の基本方針を基に積極的に取り組むことをここに宣言します。

基本方針

- 男女共同参画の視点に立った教育・研究環境及び就業体制の確立
- 仕事と家庭生活との調和(ワーク・ライフ・バランス)を図るための支援
- 大学運営に関する政策の立案と決定への女性参画の推進
- 学生・教職員への男女共同参画についての啓発活動の推進
- 男女共同参画を推進する地域や国際社会との協調及び連携の促進

平成21年11月24日

富山大学

目標 国内外で学術研究の発展に寄与するリーダーシップを有する女性研究者の育成と活躍の拠点化

地方発信型の特色ある育成モデルとして3項目を骨子としたシステムの構築

Change 意識改革

女性研究者採用の促進

(教員公募文書への付記)

富山大学は男女共同参画を推進しています。
女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

学内意識調査の実施

本学教職員と院生を対象として平成20年～22年に3回

Webメンター制度の活用



会議時間の適正化

各部署の
会議室等
への掲示



「SMARTな集い」の開催

キャンパスカフェでの
毎月の意見交換会



男女共同参画宣言文の策定

平成21年11月24日

啓発講演会・シンポジウム等の開催

平成20年度2回、21年度4回、22年度2回(予定)

意識改革

- 男女共同参画宣言
- 会議時間の適正化と効率化
- Webメンター制度を利用した啓発活動、多様なロールモデルの提示
- 男女がワーク・ライフ・バランスを理解した上で互いを認め合い切磋琢磨して研究の質を高める

優秀な女性リーダー研究者

リーダーを目指す女性若手研究者

研究者を目指す女子学生

富山大学

知的創造の中核としての実績と将来性

- 研究を発展させる意欲
- 研究を継続する意欲
- 研究者を目指す意欲

能力発揮の基盤整備
プロ意識の向上
適材適所の人材登用



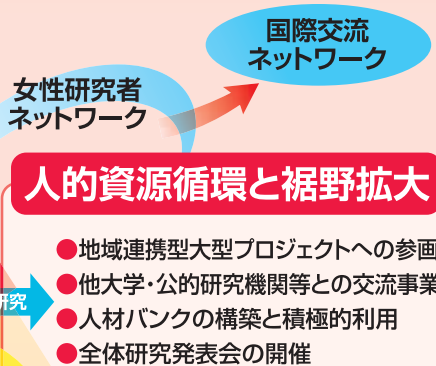
連携に関する協定書

研究推進支援体制

- 女性リーダーシップ育成助成金
- 保育施設の拡充(病児・臨時・学童)
- 技術補佐員、代替教員の確保
- アラカルト式研究支援メニューの作成・活用

Challenge 人的資源の循環と女性研究者の裾野の拡大

事業の概念図



女性研究中断者

女性ポスドク

研究者を目指す中学・高校生

富山県

学術振興、地域振興への積極的支援体制

人材バンクシステムの活用

平成21年度 学内での運用
平成22年度 学外への拡大



目的

- 出産・育児・介護中の女性研究者を支援するために代替教員・研究補助員の補充
- 富山県在住の女性研究者等で、研究中断後、再雇用希望者等の発掘
- 県内の研究機関に所属する研究者間の共同研究を推進

女子中高生への理系選択・進学推進用パンフレット作成・配布

理系全5学部教員の研究と
女子卒業生のメッセージの紹介



Continue 女性研究者の研究推進のための教育・研究環境の整備

附属病院保育所 夜間保育の実施

平成20年10月(金曜日18:30～翌1:00)

病児・病後児保育室の開設

平成22年6月

平成21年度文部科学省「周産期医療環境整備」事業
「総合的周産期医療人育成プログラム事業」との連携

学内妊婦等専用駐車区域の設置(予定)

目的：妊娠・育児中に変則的な時間に出勤した場合の
駐車場確保

アラカルト支援

研究支援・教育支援・子育て支援

—女性研究者自らが必要とする支援策を選択できる仕組み—

研究支援
(リーダーシップ)
育成助成金

研究・教育
支援

子育て支援

H20年度

H21年度

H22年度

学長裁量経費 教育研究活性化経費に女性研究者枠を設立

5件採択

6件採択

9件採択

制度化に向けた取組み

実情把握と
支援策の検討

研究支援員(サポーター)制度の施行

非常勤講師配置
の施行

非常勤講師配置の
制度化
(全学的措置)

学内夏季学童保育の施行

ベビーシッター利用料補助制度の施行

研究支援員(サポーター)制度の実施

平成21年度 3名支援、平成22年度 10名支援(予定)

ベビーシッター利用料補助制度の実施

平成21年度 2名支援、平成22年度 20名支援(予定)

夏季学童保育の実施

平成21年度 教職員の相互的協力、平成22年度 外部委託

顕微鏡で
虫を観る

学童保育での
科学実験
(早期からの
理系選択推進)

